

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 津山工業 高等学校
実践場面	「工業」に特化した企業ガイダンス
実践日時（時期）	令和6年12月10日（火）5・6限
対象生徒（学年）	2年生 216名
連携の形態	☒ 包括連携協定（ 津山商工会議所 ） ☐ その他（ ）
学びの分類	☒ 講演会講師・説明会 ☐ 技術指導 ☐ 企業訪問・インターンシップ ☐ 商品開発・共同研究 ☐ 最新技術・設備の見学 ☐ その他
実践の内容	
【現状】 ・本校には、地域産業の担い手の育成や人材の輩出が期待されており、そのためには、生徒が地域の産業を知り、地元の企業に興味・関心を持つことが重要となる。 ・校内外で実施される進路行事を通して、地元企業を知る機会を設けているが、地元の「工業」に特化した企業ガイダンスが実施されていないのが現状であり、「工業」に特化した企業ガイダンスが求められる。 ・R5年度1月に初めて、津山圏域工業会と連携して、「工業」に特化した企業ガイダンスを開催した。 【実践内容】 ・昨年度同様に、津山圏域工業会の事務局である津山商工会議所と連携しながら、参加企業の募集を行った。 ・今年度は、新たに津山圏域工業会内の建設部会にもお声がけし、計15社から参加の承諾を得た。 ・工業高校の教員にも興味をもってもらうため、他校から工業高校の教員を講師としてお招きし、教員ブースも設置した。 ・ガイダンスの事前準備・会場設営、当日の運営まで全て津山商工会議所と津山圏域工業会が実施した。 ・当日は、本校旧体育館1階にブースを設け、生徒がそれぞれのブースを訪れて企業の説明を聞いた。 ・企業ガイダンスは1社15分の3回構成とし、事前の希望調査を基に振り分けて行った。 ・同時に視聴覚教室において、進路課より今後の進路決定に関する進路説明会を実施した。 ・5限目は土木科・デザイン科・ロボット電気科が企業ガイダンスを、建築科・機械科・工業化学科が進路説明会に参加し、6限目はそれを入れ替えた。	
実践による効果等	
・生徒からは、「地元企業の方と直接触れ合うことで、自身の進路選択の幅が広がった」「参加した企業に興味を持った」「働いている人が楽しそうで、将来の不安が和らいだ」などの感想があった。 ・企業からは、「高校生と話ができて、彼らが仕事に対して求めていることが少し理解できた」「とても良い機会であった」等の感想があった。	

